



2020年5月15日

各位

会社名 株式会社アイリッジ  
 代表者名 代表取締役社長 小田 健太郎  
 (コード番号: 3917 東証マザーズ)  
 問合せ先 取締役 CFO 兼 英 一 樹  
 管理部長

( TEL. 03-6441-2325 )

**通期連結業績予想と実績値の差異、特別損失(減損損失)の計上  
 及び役員報酬の一部返上に関するお知らせ**

2019年5月15日に公表しました2020年3月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が発生し、また、2020年3月期において特別損失(減損損失)を計上しましたので、下記の通りお知らせいたします。

また、役員報酬の一部返上について、併せてお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想と実績値の差異について

(1) 2020年3月期通期連結業績予想と実績値の差異(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,500	250	250	120	18.19
実績値 (B)	5,337	114	114	△81	△12.26
増減額 (B-A)	△162	△135	△135	△201	—
増減率 (%)	△3.0%	△54.0%	△54.3%	—	—
(参考) 前期連結実績 (2019年3月期)	3,261	12	15	△26	△4.07

(注) 2019年3月期は決算期変更の経過期間となり、2018年8月から2019年3月までの8か月決算となっております。

(2) 差異の理由

売上高につきましては、例年最大の売上計上月となる3月に向けて、第3四半期(2019年4月1日～同年12月31日)までは順調に進捗しておりましたが(第3四半期末の通期業績予想に対する進捗率は70%程度)、本年2月以降、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、各種イベントプロモーションの開催中止等に伴い、一部案件が影響を受け、第4四半期(2020年1月1日～同年3月31日)の売上高は見込みを下回る結果となりました。

利益面につきましては、販管費の抑制に努めた一方、第4四半期における売上減の影響、粗利率

改善の成果が足元で顕在化してきているものの通期計画には及ばなかった影響を受けております。

この結果、売上高、営業利益、経常利益が業績予想を下回りました。また、以下2に記載の通り、特別損失を計上したことから親会社株主に帰属する当期純利益は業績予想を下回りました。

## 2. 特別損失（減損損失）の内容

当社連結子会社が計上するフィンテック事業に係るソフトウェア（無形固定資産）を「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき減損処理し、144百万円の減損損失を特別損失に計上しました。

なお、2020年3月期の連結業績への影響につきましては、「1. 通期連結業績予想と実績値の差異について」に記載の通りです。

連結子会社では、デジタル地域通貨プラットフォーム「MoneyEasy」を軸にフィンテック事業を営んでおります。「MoneyEasy」はスマートフォンアプリ上で利用できるデジタル地域通貨の発行、域内店舗等での決済を行うことができ、地域の金融機関や地方自治体等と連携してサービス提供を行っております。また、プレミアム商品券のデジタル化や行政ポイントの導入等にも対応し、地域に根差したデジタル通貨として、地域経済活性化の有効な一手段として関心が寄せられ、2021年3月期においても複数の地域で実証実験や導入の検討を進めておりました。

そのような中、新型コロナウイルスの拡大により、都市部、地方に関係なく、生活や経済に影響が及び、各所における取り組み・施策の優先順位に変化が見られます。収束時期が不透明な現状においては計画通りの事業展開を見通すことが難しいと考えられるため、今般、フィンテック事業に係るソフトウェア（無形固定資産）を減損する判断に至りました。

一方で、「MoneyEasy」は地域経済活性化の観点からは有効な手段であることは変わりなく、また政府の専門家会議が示した感染拡大防止と社会活動を両立する「新しい生活様式」で提言されている人と人とを介さない非接触の電子決済手段であることから、安定を取り戻した後は、展開時期が遅れるものの、同様若しくはこれまで以上の関心が寄せられるものと考えております。

## 3. 役員報酬の返上について

この度の通期連結業績予想と実績値の差異発生及び特別損失の計上を真摯に受け止め、役員報酬を一部返上することとしました。

当社代表取締役社長                      月額報酬の30%を返上（3か月間）

なお、フィンテック事業を営む連結子会社の代表取締役社長につきましても、当社に準じて一部返上を予定しております。

以 上